

理化学研究所 事務アドバイザー・カウンスル  
付託事項

理研は、最高の研究活動を通じて科学と技術の進歩に貢献し、社会の付託に応えることが使命である。これは、研究者個人から創出された「個人知」を総合研究所としての特徴を活かし「理研知」とするとともに、産業界など社会とのかかわりによって「社会知」として活用されることにより達成されると思慮する。

このため、理研においては、研究活動を支援するのみならず、積極的に研究活動を牽引し、「人、組織、社会とのかかわり」を築くことが事務部門の重要な役割と考え、今回のACにおいては、以下について助言を求める。

1. 大学、産業界との連携

社会知を創出するためには、大学、産業界等外部機関との連携強化が不可欠である。このため、理研は、研究者個人による連携だけでなく、組織として外部機関との連携強化に取り組んでいる。特に、産業界とは財政支援を含めた連携の強化を目指している。これら連携強化に向けた事務の現在の取り組み、及び今後取り組もうとしている施策について評価を受け、助言を求める。

2. 広報戦略

理研は研究社会では高い評価を得ているが、社会的に十分な評価を得ていると言いが難しい。理研の研究活動に対する社会の理解を増進するため、理研への投資に対する成果を社会に発信する手法、特に国際社会および一般社会に対する効果が適切であるかどうかについて評価を受け、助言を求める。

3. 国際化のための事務体制

理研においては、研究社会における世界的な頭脳循環の中で、積極的に海外から優れた頭脳を獲得し、その能力が最大限に発揮できる環境整備を進めているところである。これに対処できる事務部門を構築するための取り組みについて評価を受け、助言を求める。